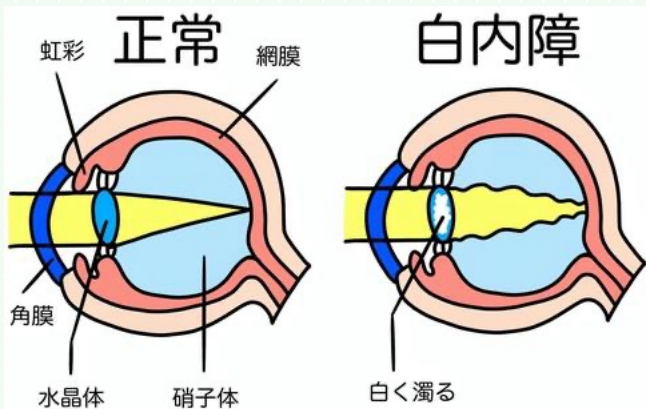
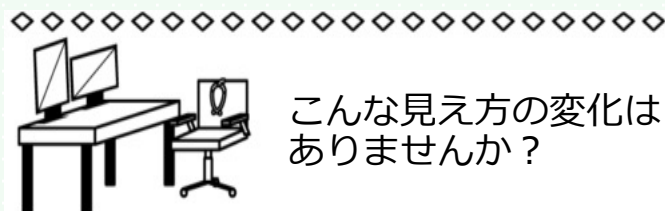


そのぼやけ、年のせいだけじゃないかも…白内障について



白内障は、目の中にある「水晶体（すいしょうたい）」というレンズが濁ってしまう病気です。

多くの方が60代頃から少しずつ進行して80才以上ではほとんどの方に何らかの白内障がみられます。



こんな見え方の変化はありませんか？

- ◆ 全体が**かすんで**見える
- ◆ **明るい**場所で**まぶしい**
- ◆ **夜の**見え方が**悪い**
- ◆ メガネを替えてもは**っきりしない**
- ◆ **色の区別**が**つきにくい**
(白や黄色がにぎって見える)

こうした症状は白内障のサインかも！



白内障と交通事故の関係

白内障があると視界のぼやけや、まぶしさのために、段差の見落としや転倒が起こりやすくなります。

また、夜間の運転時に
対向車のライトがまぶしく感じたり、
信号の色がわかりにくくなったりと、
交通事故のリスクが高まることが報告されています。

交通事故のリスク



白内障と治療方法

軽い症状…**点眼薬**で進行をゆるやかにする
生活に支障をきたすような見えにくさ…**手術**
手術方法はにぎった水晶体を人工のレンズに
置き換える方法が多いです。

早めの発見、治療でこれからも安心して生活を続けましょう！

日常生活で気をつけたいこと

外出時はUVカットのサングラスや帽子で紫外線対策をしましょう。

部屋の照明を明るくして、段差や障害物に気をつけましょう。

定期的に眼科検診を受けましょう。
(年に1回が目安です)

